

# 住民の願い実現へ 川口市長から回答を受け市議団が懇談

日本共産党川口市議団が提出した「2020年度予算編成ならびに各種施策における緊急・最優先要望」に対し、川口市からの回答書を2月10日に川口市長から受け取り、党市議団と川口市長との懇談も行いました。

まず、川口市長から、日本共産党市議団の提案を受け、2019年度に住宅リフォーム助成制度の予算を増額したことについて、助成制度の経済波及効果が大きく、住民と市内業者の双方に喜ばれる制度であることから新年度予算も増額することなどが述べられ、市議団からの意見も求められました。



日本共産党市議団の金子幸弘団長は、市の障害者施策にかかわって、障害者入所施設の必要性について述べ、国や県が施設整備に消極的な状況にあっても市として積極的に取り組んでいることは他市にないことであり、市民から大変喜ばれていることを伝えました。同時に、川口市障害者短期入所施設しらゆりの家は定員10人となっており施設の拡充が急がれることや、埼玉県立特別支援学校の過密化解消も求められていると市民からの切実な声も届けました。

# だれもが払える国民健康保険税に

2月7日、川口市国民健康保険運営協議会が開催されました。国民健康保険特別会計と病院事業会計の令和2年度予算案の大綱が報告され、さらに来年度からの国民健康保険税条例の一部改正が議題となりました。国民健康保険条例の一部改正については①賦課限度額の引き上げ ②法定軽減の拡大が行われる予定です。

## ●賦課限度額の引き上げ

	2019年度		2020年度	増加額
基礎課税額【医療分】	58万円	➔	61万円	3万円
後期高齢者支援金等課税額	19万円		19万円	増減なし
介護納付金課税額	16万円		16万円	増減なし
計	93万円		96万円	3万円

※2020年度の国の法定の賦課限度額 99万円

## ●法定軽減の拡大について

		法定 軽減対象者の推移		
		7割軽減	5割軽減	2割軽減
2019年度	世帯の総所得金額	33万円+【28万円×A】以下	33万円+【51万円×A】以下	
2020年度	33万円以下	33万円+【28.5万円×A】以下	33万円+【52万円×A】以下	

※前年の世帯の総所得金額等が一定の基準以下の場合、均等割を軽減  
A=加入者数と特定同一世帯所属者数

高すぎる国民健康保険税が市民のくらしと命を脅かしています。日本共産党市議団は、機会あるごとに川口市の国民健康保険税の負担軽減策を提案してきました。今回の改定では中間所得層を含む賦課限度額の引き上げ、また低所得世帯への保険税の軽減対象が拡大されますが、まだまだその負担は重いものです。まもなく開会予定の3月市議会定例会でも、高すぎる国民健康保険税をだれでも払える保険税となるよう市民のみなさんと力を合わせて奮闘する決意です。